

『本物』の出逢いの物語

オンリーワンを求めて

スタート



20坪の事務所です社員5人でスタートしました
1987年 12月(昭和62年) 佐世保市花園町にて永代ハウス誕生

建てれば売れる時代



木造住宅を中心に「安く良い家」を目指して新しいものをとり入れたり、改善・研究を続けてきました。あわせて、土付き建物や安価で提供して参りました。

平成9年

思いがけずここから本当の家づくりのスタートでした



このままでいいの？

平成9年 4月～消費税率が5%になりそれまでのかけこみ建築その後住宅着工の動きが少し鈍くなった。

技術屋あがりの社長としては、「やはり住宅における最高峰は「鉄筋コンクリート住宅」である」という考えを持っていた。高度な技術を要する為、差別化も出来る。

平成8年までは、建材メーカーに誘導された家づくり、住宅業界がさぼって技術を磨かずに済んでいました。

木造住宅ではどの会社でも同じ様な家になってしまっている。やはり、木造住宅でまう。やはり、木造住宅で差別化は無理かもしれないという思いがあった。

大工さんや左官さんなど職人さんの技術がおろそかにされていた。昔は、地域それぞれ様々な個性があったのに今は全国どこへ行っても同じ様な風景になってしまった。

私達住宅にたずさわる者として、反省せざるをえません。

平成11年

現場製作のコンクリート住宅に出逢う。



耐震性、耐火性に強い。
坪単価40万円
通常鉄筋コンクリート住宅は坪70万円クラスの建物であった為、超破格値でした

「スーパーシェルター」と改名して家族を守る強い住宅が誕生しました。

台風の被害をうける地域や敷地が狭い建て替え(3F建て)など幅広く対応できる様になりました。

平成13年

ひかじ、

頑強なスーパーシェルター地震や台風、火事にも強い「スーパーシェルター」



コンクリートって「冷たい」「固い」イメージじゃん



コンクリートって「結露」も気になるよね

これは問題です

「木装コンクリート住宅」(内部仕上げは無垢の木造り)



無垢材の良さ

- ◎程良い湿度を保って快適
- ◎カビ・ダニ防止で衛生的
- ◎木は目にもやさしい
- ◎バランス良く音を吸収する
- ◎木の香りでストレス解消
- ◎木の床は衝撃を吸収する

「もつともつ」の精神で全国を勉強してまわりました。北は北海道から南は沖縄までほとんどに色々勉強の日々でした。そこで出逢ったのが**本物の「ホ」(無垢材)**

「これは...」
コンクリートの冷たさや、結露を解消できる!!という事で「木装コンクリート住宅」が誕生!!

平成15年

様々な出会いの中で家具職人さん、版画家、篆刻家、青竹細工職人さん、バスケットアーティスト、押し花、セラアーティスト等、それぞれの「道」でこだわりを持った本物志向のみなさんと知り合う事ができました。



その中の一人の家具職人さんが、社長の話を聞き「社長と同じ様な考えでやっている会社が福島県にありますよ」と教えてくれました。

永代
「へえっつじゃあ行ってみよう!!」

Let's Go! いざ福島へ!!

平成15年 6月

でも最初は半信半疑でした
〈展示場を見て〉
これが本物の木造住宅だ!!

社長自ら目からウロコが落ちた瞬間でした。



「これだ!!」



■福島県 住宅会社社長と弊社専務山頭、弊社大工棟梁グループとの研修風景

《私達が本当に住みたい家》

身体に優しく、様々な変化に富み、夏涼しく、冬暖かい。何時までも丈夫で、住めば住む程味わいが出てくる。天然素材が息づいた本物の住まい。それは、懐かしい六十年前の日本の住まいの伝統が生き、技が継承された本物の住まいでした。

- 住まいの工業化によって起った新たな問題点
- 1 シックハウス症候群
 - 2 間取りを変えにくい
 - 3 空調による身体への影響
 - 4 意外にも早く老朽化する新建材
 - 5 オリジナリティの少なさ

平成15年 たびり着いた結論として

オンリーワンとは基本に帰り忠実に技術を磨き抜く事。



技術の継承を積極的に
行っています

■大工さん

■左官さん

■建具屋さん



「永代ハウスはこれからも健康で快適で安全な住まいを」提案致します」

「永代ハウスはこれからも健康で快適で安全な住まいを」提案致します」

「永代ハウスはこれからも健康で快適で安全な住まいを」提案致します」

■福岡市博多区 永代ハウジングパビリオン 古材コーナー